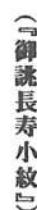




(daidogeikib.biglobe.ne.jp) [http:// daidougei.seesaa.net](http://daidougei.seesaa.net)

寛永二年（一六二五）徳川の
将軍 三代目家光公の御時
初代辛子屋徳右衛門は 調味
料として将軍家に献上した所
とお大これはよきかな珍味
じやと ことのほか御意に召
され 褒美として 徳川の徳
で煎り 香りづけを行いま

最初に入れますのは 武州
川越の名産黒胡麻を二杯
田の名産蜜柑の皮陳皮
江戸は内藤新宿八つ房の焼
唐辛子 唐辛子をほいろう



すが、これは現在でも一部た。江戸では男が同じもの
 やつてゐる人がいますので、をやつたが上方と異なり唄
 運が良ければ巡り会えるかではなく喚呵として同じ詞
 も知れませんが、をたがひていた。
 見る事が出来る。

